

やまもり通信 8

vol.71

青い空に白い雲。
風鈴つけてうちわ片手にかき氷。



【加子母の風景】明治座の二階席。大きな屋根が日陰になって風が涼しく感じます。



こちら 彩都やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

〈8月・9月のギャラリー展示情報〉 彩輝館ギャラリー

大阪樟蔭女子大学3年生書展「染めの書」を開催します。

【期間】8月5日(木)～8月11日(水)※最終日は午前中のみ

国文学科書道コース 3年生の皆様による作品展です。柿渋を背景に添えた臈纈(ろうけつ)の書。コロナ禍でオンライン授業になるなど、戸惑いながらも習得した日頃の成果をぜひご覧ください。なお、2年生の作品展は10月20日(水)～10月25日(月)に開催いたします。



《工芸品豆知識》 一位一刀彫について

一位一刀彫は岐阜県飛騨地方で作られている、イチイの木をノミだけで彫り上げる彫刻品で、国の伝統工芸にも指定されています。岐阜県の県木であるイチイの木は、内側の赤っぽい「赤太」と外側の白っぽい「白太」の2色にくっきりと分かれています。木の木目とこの2色の色合いを巧みに利用した技が一位一刀彫の特徴で、魅力は年月が経つにつれて光沢が増し、美しい飴色に変わっていく色の変化。これは木の表面が酸化する

「自然豊かな岐阜の木・木工品」を展示・紹介します。

【期間】8月18日(水)～10月19日(月)

自然豊かな山々に囲まれた岐阜県は林業が盛んで、岐阜の木を使った家具や住宅だけでなく、一位一刀彫や円空彫りといった伝統技術、木杵や曲げわっぱなどの生活用品などの木工品づくりも盛んにおこなわれています。今回はそうした木工品を展示・紹介すると同時に一部販売も致します。



飛騨一位一刀彫協同組合より提供

とで起きる変化で、約1年を過ぎたあたりから少しずつ色が変わっていきます。

一位一刀彫の起源は、天平の時代、社寺などの建築に携わった「飛騨の匠」たちで、その技術は現在でも高山市の屋台の彫刻に見ることができます。その後江戸時代末期、松田亮長根付彫刻士により一位一刀彫は確立されました。その技術は現在まで受け継がれ近年では伝統的な根付や置物の他、アクセサリなども作られています。



ひのきのアロマウッド

東濃ひのきの木端からできたアロマウッド。オイルをたらすとひのきの香りがさらに広がります。ひのきのアロマオイル付きのセットは1100円(税込)、自分でつくるアロマウッドは500円(税込)でギャラリーにて販売中です。数に限りがあるので気になる方はお早めどうぞ!



【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、
彩都やまもり HP
(<https://yamamori.site>) や
facebook でご確認ください。



やまもりHP



やまもりfacebook



ひのき香るオンラインアロマヨガ開催

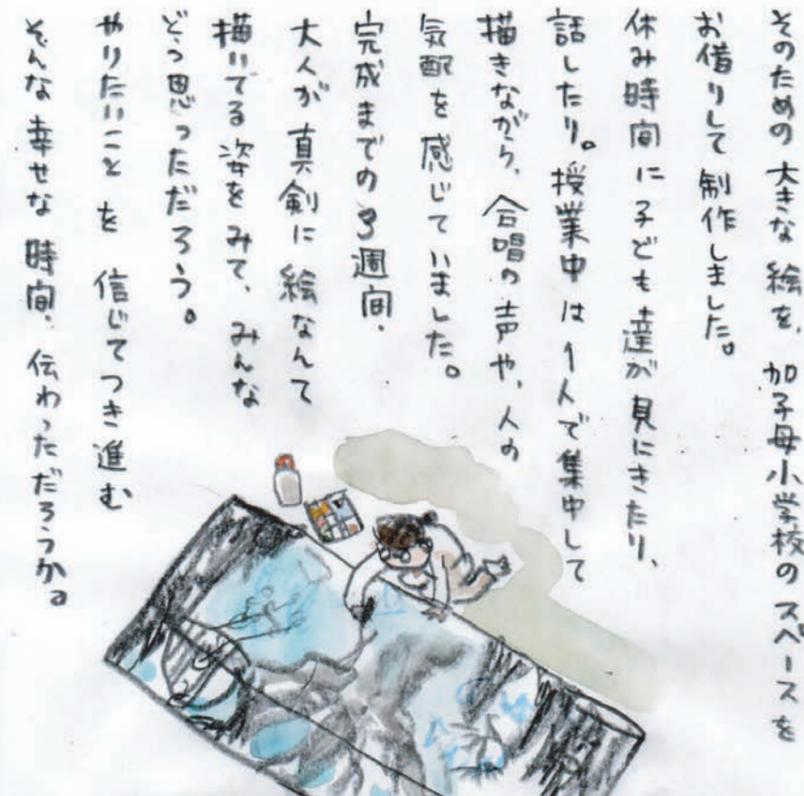
5月30日、6月16日に「ひのき香るオンラインアロマヨガ」を開催しました。コロナでなかなかイベントができない中、なにか楽しんでもらえることがしたいと思い、彩都やまもりでも何度かヨガイベントをしていただいた Yoga Universe の原田先生にご協力いただきました。久しぶりのイベントということもあり、参加者のみなさまには「東濃ひのきのアロマオイルセット」をプレゼント♡ひのきの香りがさらにリフレッシュ効果を高めてくれます。

合計8名の方にご参加いただき、とても気持ちよかった、癒された、などうれしい感想もいただきました。また開催したいと思いますので、その時はぜひご参加お待ちしております!



大きな絵と 子ども達

日者中お見え舞申し上げます。
9/26まで「熊谷権つけちギャラリー」で個展を
してります。



本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と
日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://tebokko.jp>
●本間希代子展 音楽と物語のある絵 9月26日(日)まで 熊谷権つけちギャラリーにて
【開館】日・金・土・日祝日のみ観覧料二般330円 中学生以下無料【主催】中津川市 詳しくはHP

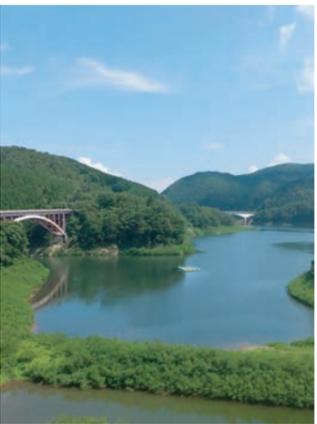
ふるさと 岐阜からまゆがさく



「東野」
ひがしの
植木 利英さん

今月号より、岐阜に暮らす人に焦点をあわせ
た企画としてこのコーナーを設けました。第号
となるのは彩都やまのりのイベントでもおなじみ
「黒ニンニク」製造販売の有限会社「東野」の植
木利英さんです。
植木さん自身他県からの移住者とのことですが、
なぜ岐阜に暮らす事になったのかなど2回に分け
てお聞きしたいと思います。(やまもり通信編集
室・以下「や」)

や■さっそくですが、岐阜にいらっしゃったいき
さつについてお聞かせください。
植木□私はもとと茨城県の出身で55歳まで食
品会社の営業マンとして働いていました。きつか
けとなったのは2011年3月に発生した東日本
大震災です。自宅が被災したり住まいが原券の
ある福島県の隣県だったことから、それまでの電
気に頼った便利すぎる暮らしに疑問をもったりイ
ヤになったことで田舎での暮らしを考えるよ



うになりました。平成26年頃から移住先探しの
行動を開始して、はじめは長野県をいろいろさ
がしていました。でもなかなか気に入るところが
見つからず、ついに隣の岐阜県に入ったところで
晴れた日のくっきりと美しい恵那山を見てここだ
と思いました。(笑) 55歳の時です。

や■それから？

植木□まず市役所の移住促進課窓口に行きまし
た。そこで「リフォーム塾」というのが開催され
ていたので登録してしばらく通っていました。そ
うしている時に築60年の古民家を紹介されまし
た。地元の大工さんの指導のもと塾生の地域住
民のボランティアの方など有志の皆さん方と一緒に
リフォームしてそこに住むことになりました。
平成27年8月のことです。それが標高650mの
飯地町に建つ今の我が家です。(次号に続きます)



※まめ「東濃地方の方言「元氣」という意味

加子母の人 山守日記 6 第64回 読書は山の中

前回、書物の貸し借りや転写、音
読の習慣などをご紹介しました。今回は、
お勤めで長いこと山中で過ごす山役人と
読書についてご紹介します。

●「退屈」は読書で紛らわす
御山守 内木彦七が残した日記や記録の
中には、加子母村の人々のことだけでは
なく、三ヶ村山を訪れた山役人たちのこ
とも記してあります。彼らのささやかな
楽しみもまた、読書でした。
宝暦7年(今から264年前ね)9月
17日、加子母村の山中に滞在していた山
手代の大嶋源六から来た一通の書状。仕
事の内容に続けて「御大切な書物、ゆる
ゆると読覧仕り、山本退屈をお陰にて相
忘れ、。」とありました。山へ入る前に
彦七から借りた本をゆつくり読むことがで
きたお陰で手持ち無沙汰な日々を慰める
ことができたというお礼の言葉です。この



時大嶋が借りていた本は「前太平記」(21
冊)「保元平治物語」(6冊)「本朝知恵鏡」
(6冊)の合計33冊でした。
尾張藩の山役人たちは、加子母村にや
つてくるしばしば彦七に書物をリクエス
トしました。特に「前太平記」は山役人

関西発会活動けいじ板

●大阪県人会・関西県人連合会の総会、
書面決議で終了しました。

新型「コナウイルス」の感染拡大の影響によ
り書面決議で開催致しました「2021年度
大阪岐阜県人会並びに関西岐阜県人連合会
の総会」は、提出したすべての議案を全会一致
で可決承認され、無事終了しましたことをご
報告させていただきます。会員の皆様のご理解、
ご協力、誠にありがとうございました。
承認された大阪県人会と関西県人連合会の
役員の皆様は別記の通りです。皆さんよろし
くお願い申し上げます。

また、この度関西県人連合会の会長に就任
されました中島紀于氏の率いる中島工務店が
「第71回岐阜新聞大賞」を受賞されましたの
で関連記事を同封致します。
中島工務店の皆さんおめでとうございませう。

大阪岐阜県人会・関西岐阜県人連合会
会長代行 徳田 昭憲

- 《大阪岐阜県人会役員》
- 会長 寺岡 龍彦
 - 会長代行 徳田 昭憲
 - 副会長 野田 邦雄
 - 副会長 中村 勇雄
 - 副会長 長谷 遵
 - 副会長 宮崎 誠司
 - 副会長 岩崎 雅明
 - 副会長 辻 祥光
 - 副会長 岩佐 雅史
 - 副会長(事務局局長兼務) 鳴海 剛史
 - 監事 新美 弘
 - 監事 伊藤 浩史
 - 最高顧問 山藩 一雄

たちに
人気がありますし
た。千村重左衛門は、全21冊
が入る木箱を新調して彦七に返却してい
ます。



●山役人は「軍記物」が大好き？
山役人に人気があったの書物は、「前太
平記」を始め「保元平治物語」「平家物語」
「曾我物語」「要覧太平記」などの軍記物
でした。材木方の山役人は、せいぜい手
代格の下級藩士、山手代や御山守は手代
格ですらなく藩士以下の待遇だったので、
帰って合戦や仇討ちという武張った内容
を好んだのかもしれないね。山中での滞
在期間も長いので、長編物語が好まれた
のかも。

●浄瑠璃本も楽しむ
彦七が付知村を訪れた際泊めてもらっ
た又吉の家に、宇兵衛という百姓が、近
松半一の「傾城阿古屋の松」を持参して
来ました。その日の彦七の日記には「こ
の夜宇兵衛、傾城阿古屋の松二段読み申
し候」と、翌日は「宇兵衛あこやの松一
段読ませ申す也」とあります。二段目を
宇兵衛に読ませて気に入った彦七が、さ
らに一段目を頼んだようです。3日目は「役
行者大峯桜」も読ませたようで、彦七は
浄瑠璃本を三夜連続で音読させ楽しんで
ようです。宇兵衛さん、読むのが上手だ
つたのでしょね。【文責本間】

参考文献：「山村の人々-つきあい」江戸時代のが
しも生活① 太田尚宏著 徳川林政史研究所発行

- 《関西岐阜県人連合会役員》
- 会長 中島 紀于
 - 会長代行(事務局局長兼務) 徳田 昭憲
 - 副会長 寺岡 龍彦
 - 副会長 桂川 工
 - 副会長 高野 文男
 - 理事 中村 勇雄
 - 理事 宮崎 誠司
 - 理事 岩崎 雅明
 - 理事 辻 祥光
 - 理事 新美 弘
 - 理事 鳴海 剛史
 - 理事 山本 智
 - 理事 岩田 篤
 - 理事 羽田野 求
 - 理事 飯尾 敏治
 - 顧問 山本 淳

注)新美弘氏は人事異動のため退任し、後任
の児玉千尋氏(大垣共立銀行大阪支店長)が
就任しました。



(上) 大阪岐阜県人会会長 寺岡 龍彦氏
(下) 関西岐阜県人連合会会長 中島 紀于氏

●2021岐阜ふるさと祭り開催中止の お知らせ

毎年秋に彩都やまもりで開催しております
「岐阜ふるさと祭り」ですが、新型「コナ」の感
染被害の収束が見えない状況を踏まえ、今年
も開催を中止することにいたしました。
昨年引き続き2年連続の中止決定は大変
心苦しいですが、何卒ご理解下さいますよう
お願いいたします。